

中川村議会だより第122号アンケート結果

1. 今号の内容や編集について（表紙・見出し・写真・紙面構成など）

- 表紙の写真説明があり、是非この三河万歳を見たいとおもいました。
- 決算のページは、決算の数字ではなく、内容がよくわかりました。特別会計のページは無駄に表が大きくもったいない。説明文書は分かりやすい。
- 審議内容が多く、何を記事にするか悩むと思いますが、ごちゃごちゃしてしまっていて見づらいページになっています。全課の報告は必要ないのでは？
- スマート農業の取組の質問が2議員から出ていますが、私も今年全自動草刈機を導入し利用しています（村内で初めてだと思います）。議員の皆様で見に来てただけででしょうか？

若い農業者が積極的に新しい農業をしていきたい声を聴いてください。

今、果樹農家は鳥被害に悩んでいます。収穫の時期になるとせっかく作った果物が、カラスや野鳥につくかれ販売できないものが増えて、悲しい思いをしています。

企業では、害鳥対策のシステムなど開発していますが、コスト面で導入することはむりなので、村がタイアップしてモデル地区として企業と協力して導入できるよう考えてください。

モニター通知をもって来られても、直接お話しする時間がないのでお願いします。

- 表紙の写真に説明がついてとても良いです。今後もその地区の人しか知らないような行事を紹介して頂けると嬉しいです。
- 新たな編集委員各位のご努力もあってか122号は充実した内容になっていると感じます。

2019年度決算可決に至る記事は詳細に分かり易く書かれています。とりわけ「事業のどんなところを評価したのか」「これはイイナと感じた事業は」「さらに期待したいことは」との項目に分け各事業の内容を記載した切り口は今までにない視点であり評価できます。

また、用語解説が適切にされており、多くの村民に分かりやすい記事になっているのではないのでしょうか。

- 表紙についてはここ数号でテーマが都度変わっており一貫性がありません。ただし今号のように対象地区以外の村民に知られていない文化を取り上げることは良いと思います。議会だよりの品位を感じることができます。
- 表紙についてですが、顔触れを見ると何年も前の写真のように見受けられます。あまり古い写真は使わないほうがいいのではないのでしょうか。もしも最新の写真だったらごめんなさい。
- 今号において赤色系2色刷りを改めたのは非常に良かったと感じます。表紙以外の写真も白黒に戻って見やすくなりました。まあ、モニターの中には全く逆の評

価をする人もきつといることでしょう。好き勝手な意見に耳を傾けなければならぬ編集委員の皆さんもご苦勞なことだと同情いたします。

- 9月の定例議会でも9人全員が一般質問をしたわけではないと見受けられます。「全員が質問するのも大変だし、順番で一人ずつ休もうよ。ほかの町村だって全員が質問しているわけでもないし」ということなのではないでしょうか。それを裏付けるためのデータとして18ページ下の表を掲載したのかなと推測しました。昨年、議会改革度ランキングで上位に入った際、その要因の一つに「一般質問を全員の議員が行う点が評価された」と自己分析されていましたよね。いいと思ったことは続けたらいかがでしょうか。
- 19ページの望岳荘に設置したボイラーの呼称についてです。村の広報では従来から「木質バイオマスボイラー（薪ボイラー）」と表記してきたし、過去の議会だよりでも「木質バイオマスボイラー」と表記していますよね。しかしながら、この「木質バイオマスボイラー」は一般の人にわかりにくいので、今後は「薪ボイラー」と称することになったと関係者から聞きました。そのような事情を知らなかったにせよ、なぜ「木質バイオマスボイラー」ではなく、「薪焚きボイラー」などという呼称を勝手につけて、それをこうして議会だよりに平気で掲載してしまうのか、私には理解できません。
同じく「薪焚きボイラー」の記事ですが、木の駅実行委員会の中に薪部会はありませんし、そもそも実行委員会は薪加工を担う組織ではありません。別組織のNPO法人ふるさとづくり・やらまいかの薪部会が薪加工業務を担っているのです。まちがった記事がいったん出てしまうと不快な思いをする人が大勢出てしまうし、何よりも広く一般村民に誤った情報を伝えてしまうことになります。くれぐれもまちがいのない記事をお願いします。
- 編集後記の冒頭部分は明らかに初歩的な校正ミスですよね。しっかりチェックしてほしいです。
- 2ページから4ページにかけて「役場の決算」とか「役場の会計」という表記がありますが、「中川村の決算」とか「中川村の会計」と表記すべきだと思います。
- 5ページの漏水率の件ですが、2.74%減少した結果、何%になったのか示してほしいです。
- 桂川議員の質問は伊南行政組合に関することであって、中川村議会でも取り上げるべき事項ではないのなら、事前通告時にその旨本人に伝えてそれで済むことではないかと感じます。紙面も他の2問を掲載したほうが良かったのではないかと感じます。
- 議会の委員会構成が変わったことを聞くとともに、表紙を工夫したいとのこと。村内にある、伝統芸能の取り組みについて継続して取り上げて行くそうで、大いにエールを送りたい。
紙面の案内も表紙に明示されていて判りやすい。
- バックの色が黄緑色に変わったが、偶には良いかも知れない。目になれない部分

もあった。

- 令和元年度の決算が、1億円余の黒字決算になった要因が判らないので、紙面の中で明示すべきだと思う。（「必要なところに支出してないのでは？」とも思われる可能性あり。）
- 見だしの寒食系のみどり色、見やすいです。見だしの文字の大きさが、調度良く見やすい。
- 今号は久しぶりに興味を持って読むことができた内容でした。紙面構成も統一感があったことが要因とも思います。しかしながら、一つ残念なこともありました。議会一般質問で、公私混同しているように感じる内容があったことです。確かに自身の体験をふまえた意見として質問することは大切ではありますが、やりとりの内容が個人的に感じたとか、体験して不満だったとのことで、それは普通に話題・議題にするのではなく、窓口に直接伝えることではと思うことまでと思いました。それより他質問が、紙面の都合で掲載されないという本来知り得たかった内容だったかもしれないことが、未掲載というのは残念でした。
- 前回の第121号には写真の説明文が公民館活動「水生生物調査、昆虫観察、竹とんぼ教室」と書いてありました。今回122号には、しっかりと説明が書いてあって前月号よりにぎやかでボリュームのある表紙に見えました。
- 表紙の写真を見て、こんなことをしているとは知らず、今なおうけつがれているステキな伝統だなあと感じました。かつてやっていた人たちが「昔やっていたなあ・・・」となつかしい気持ちになる写真、こんな行事があるんだ！と思える写真、おもわずふっと笑ってしまうほっこりする写真などが使われているとよりなごみやすい冊子になると思いました。
- 昭和伊南総合病院の入院時個室利用の強要についての一般質問に村長が返答しているのに違和感を覚えました。伊南行政組合長、病院長からの返答も載せてほしいです。
- 今号の議会だよりは、“いつもとちょっと違うぞ”という印象を受けました。今までよりやわらかく、優しい感じがしていいです。“みなし採択”という言葉は以前からどういう意味かよく分からないなあと感じていたところ、今号にその説明が記載されていました。そういった心づかいがとても嬉しいです。
- 見出しや紙面構成はとても見やすかった。
- 学校のオンライン学習の導入についてとても興味があります。また、再び休校になった時や休んでいる児童に対して、オンラインでのサポートは必要だと思います。
- 消防団は宮田村の改革などを参考に、現代の暮らしに合ったやり方でできれば、もう少し団員を確保できるのではないのかなと思います。
- コロナに感染した時、この村に住めなくなるのでは・・・と考える事があります。差別や中傷の無いことを祈ります。
- 表紙の写真は良かったです。その姿を知らない人も村内にはいると思うので、丁

寧な解説もつけられ、村の伝統芸能を知るきっかけとなったと思います。

- 紙面構成については、緑と黒の2色刷りで、前回よりも読みやすくなりました。随所に解説が丁寧であり、とっつきにくい政治の冊子という雰囲気はなく、かといっただけ過ぎてもおらず、作り手による、丁寧に情報をお伝えしようという姿勢が感じられたような気がします。さらに一步進んで、政治に自分の声を届かせるようにするためには、こうすればいいんだというような、距離を感じさせない内容を盛り込んでいただけると、本当に親しみやすい発行物になると思います。
- 決算特別委員会の報告や議会の一般質問でも、子供や高齢者など弱者の生活についての質問が多く、日々の生活上の不安を話し合っているようで、頼れる議員の皆さんだなあと感じます。

2. 議会だよりに載せて欲しい情報は

- 10月から役場に地域政策課が設けられました。中川村の将来を創造する根幹組織ですので、議会との緊張関係を保ちながらより良い政策を実現していただくことを期待しています。議会側はその過程を丁寧に議会だよりに載せていただくようお願いいたします。
- 水道事業の漏水率改善の取り組みを取り上げたのは良いが、水道管を敷設してからかなり経過もしているため、更新についても取り上げて欲しい。
- 障がい者が住みやすい中川村。福祉タクシー、巡回バス。
- コロナ禍でもできた行事、これから行う行事などどのようにやったのか、どのようにやるのかをのせてくれると行事を企画する人も増え、いろいろが制約されてうつうつしている人たちの希望にもなるかなあ・・・と感じます。大人も子どももたのしめる行事があるとうれしいです。
- 坂戸の崩落現場の工事の見通し。
- 大阪八尾市の議会だよりに見えていたら「市議会のい・ろ・は」というコーナーで市役所と市議会って何が違うの?? という記事があり、興味深く読みました。同じような情報を是非中川村バージョンでもお願いします。
- 過去の議会の働きによって、このような建物が作られたとか、こういう政策ができたといったような、議会の昔を紹介するコーナーが時々あると面白いと思いました。

3. 議会・村に対する要望、意見等

- 年末年始を迎えるにあたり、各地区など総会や役員会が数多く開催される時期となります。集会所等に多くの住民が集まるのが予想されますので、アルコール消毒の提供やソーシャルディスタンスの方法、会議の必要の有無など村からのご指導があればありがたいと思います。
- 松澤議員の一般質問内容である「できない理由よりできる方法を考える必要がある」との趣旨に大いに賛同します。そのマインドが中川村を活性化するキーワー

ドかもしれません。飯島町は下平町長の民間感覚が影響してかここ数年地域が活性化しているように感じます。中川村がそれに倣えとは思いませんが、「前例がないということは逆に新しい時代の歯車を回すチャンスとなる」との松澤議員の言葉は強く胸に響きます。

○今までに議会だよりモニターから寄せられた膨大な意見や要望、質問は、ホームページに掲載するだけでおしまいなのですか？ 今後どう扱っていくつもりなのか見解を聞きたいです。

○松村利宏議員も一般質問で、国道 153 号の「早期にバイパスを」強く要望すべきと言って いたが、私見を言わせていただくと、トンネル勾配を確保するために、相当長い区間が必要で、子生沢橋の南から小平地区の下を抜いて、小和田の神社西へ出さなければいけないが、工事費が高くなるので、国の直轄代行に持ち込まざるを得ず、既に始まっている「伊駒アルプスロード」待ちにならざるを得ない。

国庫補助事業で行くなら、“防災系”の道路改良事業で行くと早いかも知れないと、伊那建設事務所の所長が言っていた。改良促進期成同盟会で、さらに強力に要望して欲しい。

○役割やシステムをシンプルにすることが、今からの時代において大切なことだと思うので、消防団活動に地域づくりを加えると言うのは「地域安全を守る」と言うやるべき事が掠れてしまう気がします。ただでさえ、生活のために仕事をしながら隙間の時間で活動を行ってくださってるのに、それ以上に期待してしまうのは・・・

地域づくりは、「地域おこし協力隊」が担うものだと思っていたので、協力隊員をもっと上手に使っていくべきだと思う。

○つくっちゃオからの「やらまいか」契約終了について、とてもいい事だと思います。受付の人、加工の人とで言ってる事が違いスムーズにやりとりができなかったり、注文したものと違う加工工程でできクレームを出しても受付の人だけで対処され話にならず、結局泣き寝入りする状況もあったので、今後のつくっちゃオには、これを機に、加工するだけではなく、プラスαも期待したいと思う。

○のり面の除草剤使用は控える方向に持っていくべきだと思う。

安全面が侵されるとわかりつつ、利便性だけで使用するのはいり過ぎかもしれないが犯罪行為だと思う。規模によっては、大切な公費を使ってしまう事にもなる。村をあげて除草剤禁止や、使う際や購入する際には届け出が必要など、使いにくい環境を作る事が SDGs においても有用なのではないかと思う。県内外の農業を志す若者と話していても、これからの時代安心安全の農作物を作りたい人が多いと感じるので、移住者を増やすきっかけにもなると思う。

ただ、のり面の管理においてスマート農業の導入も考えなければいけないと思うので規模が大きな話にはなるとも思うのですが・・・

○コロナ禍で子どもたちの学力低下をふせぐにはどう考えているのか？ 中川村

ではまだコロナウイルスの患者がでていないが、伊那管内でコロナ患者がでた。中川村でコロナ患者がでた場合の対策はどのようにするのか？

- 自分も農業を仕事としている1人です。田んぼ、畑、果樹園などの近くが住宅地になり、県外などから中川村へと移住されて生活されている方もいると思いますが、農家は土日や早朝・夜関係なく仕事をする時がありますが、朝から機械の音がうるさいとか、休日なのに仕事をされると落ち着けないなどと、移住されて来た方に言われ、やりづらいと話してくれた方もいました。いろいろ言われてまでもその場で農業を続けるのもいやになったから果樹園を切ってしまったと笑いながら話してくれた方もいました。そんな話を聞いた時、うまくいかないのかこちらが弱い立場なのか？ 農家ってむずかしいですね。
- 母子手帳アプリ・・身近で使っている人をみないですが、ただ登ろくしているだけで使いこなせていなかったり、登ろくさえしていない人も多いとのこと。・・・必要ですか？
私はケータイのカレンダーにいつも子ども、自分、家族のスケジュールをすべて入力しています。カレンダーで一元管理しているほうが、視える化して使いやすさを感じているからです。どのくらいの経費、ランニングコストがかかっているかは存じ上げませんが、利用者を増やすためのアプリのメリットをうたっていかないとムダになってしまうのではないのでしょうか？ やめるならはやいうちに、ずるずるやっていくのはもったいないです。やるなら、村人みんながつかいやすいものにしてほしいです。
- 中川村人口の遷移は減少傾向にあるようです。これをくい止め増加の方向に変えていくために、さまざまな取組がされている事と思います。具体的にどのような取組をしているのかを広く村民に知らせる事が、村の魅力の再発見にもつながると思うので、こんな方面でこんな取組みをしていますよというアピールを広報などでやってほしいと思います。
- これからの村づくりに対して小・中学生や高校生などからも意見を出してもらったらどうでしょう。これからの地域を担っていく人達に考えてもらう機会を与えるのはいいと思います。
- 新型コロナウイルスによる第三波が来ていて、いつ落ち着くか分からない中、引続き厳しい状態にある業種の方達の支援策などを考えて頂きたいです。
- 介護事業の中で、介護予防において、コロナが原因でお年寄りの所にケアマネさんが訪問できていない状態にあると聞きました。一人きりの方やケアが必要な方が手遅れにならないように、新たな支援策を検討する必要があると思います。
- 今こそ、オーガニックの農産物に力を入れる時だと思います。次世代の子供たちのためにも、安全・安心な食べ物を中川村で育ててほしいです。
- 今年はコロナの影響で様々な行事も少なく、総代会の内容も薄い感じで1年が過ぎました。地区をまとめ、地区をよく知る代表として総代がいるわけですので、少ない会議の時にのみ限られた時間で総代の意見要望を形式的に聞くのではな

く、議会だよりモニターと同じような形でも良いので、総代から意見や地区内の現状を吸い上げる機会が毎月でもあるといいと思います。「美しい村」と言っても、ごく一部の都会受けのよい皆さんを新聞で取り上げておしまいではなく、理想とする形を村から総代を経由で各地区に下してもらっても良いと思います。道路清掃もこんなレベルまで行いましょうとか、この場所は特に力を入れて整備しましょうとか、そんな指導をしてくださってもいいかも知れません。

4. その他

- 役場の皆さんがお揃いのポロシャツで業務をされていましたが、とても良いと思います。デザインもセンスが良く素敵でした。
- 事実をまちがえずに正しく伝えることを疎かにしていたのでは、編集委員の皆さんが目指している「暮らしに役立つ議会だより」、「村民に親しまれる議会だより」、「楽しんでいただける議会だより」、「読みやすい議会だより」には到底なり得ないと思います。
- 去年でモニターを終了したと勘違いしていた為、この今回の議会だよりまで気がつかず無回答をしていて、申し訳ありませんでした。そして、今回の提出期限も勘違いしており、大変遅くなりました。以後気をつけます・・・
- 数カ月前より伊那、駒ヶ根で熊による被害・目撃情報がありますが、中川ではなにか事前の対策などがあれば安心なんです。
- インフルの補助とってもありがたいです。今年は家族で接種できます。(いつも私ばかり・・・(笑) 家族がたすかる企画は本当にありがたいです。なかがわ商品券もしっかりつかわせていただきました！ 母も夕食で少し楽を試してみたり(笑)、おいしいものを家族でたべたりなどとても有意義な時間に使えました。ありがとうございました！！
- 議会だよりを読むたびに、議員の皆さんは村のため様々な事を研究され、住みやすい村になるよう活躍して下さっているんだなあと感じさせられます。ありがとうございます。
- コロナの感染拡大で、今までの世界とは違う世界になってしまいました。新しい生活スタイル・やり方にシフトチェンジする時が来ていますね。異常気象もそうですが、村民が取り残されずに安心して暮らせるように、村で備えたりして頂きたいです。